

パラグアイの日系人社会から研修員が来日！ 高齢者ケアについて学びます！

国際協力機構(JICA)北陸支部は、石川県立看護大学と羽咋市社会福祉協議会の協力の下、パラグアイ国から2名の研修員を招聘し、看護大学や羽咋市内で研修を実施します。

今回来日する研修員は、日本人会の幹部の方たちで、当該研修が始まって以来、初の男性研修員です。

研修期間中は、看護大学において高齢者福祉制度やケアシステムなどを講義で学びつつ、羽咋市では社会福祉施設など多様な機関を視察し、その実際について学びます。

研修名：高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成

研修期間：2018年6月29日(金)～2018年7月9日(月)

★開講式：2018年6月29日(金)11時10分～11時40分
石川県立看護大学 地域ケア総合センター研修室

【研修背景・概要】

パラグアイをはじめとする南米では、日系移住者の高齢化が進み、日本人会の高齢者福祉ボランティア達がデイサービス等の取り組みを継続して実施し、高齢者福祉の大きな役割を担っています。しかし、当該日本人会幹部の高齢者福祉に対する理解は十分とは言えない状況であるため、日本人会幹部向けの視察型の研修を実施することで高齢化福祉に対する理解を深めてもらいます。

当機構は、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成のために力を入れて取り組んでおり、本案件は、SDGs 目標3の“すべての人に健康と福祉を”を主な目標に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



本研修につきまして、取材・報道方よろしくお願いたします！！

詳しい日程につきましては、添付資料をご覧ください。

なお、研修時間・実施場所は予定なく変更になる可能性がありますので、必ず事前にご連絡ください。

別添：研修日程表

【本件に関する問い合わせ先】

(独) 国際協力機構北陸支部 (JICA北陸)

担当／名村欣哉

TEL: 076-233-5931 e-mail : Namura.Kinya.2@jica.go.jp